

積算資料 建設資材価格指数



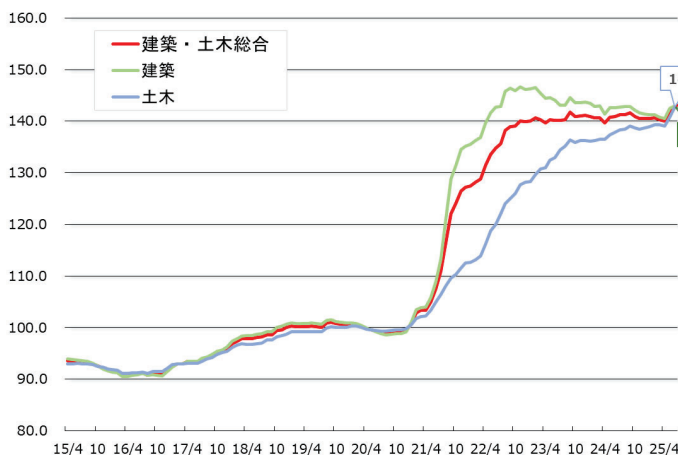
一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2025年6月調査）

全国・2020年度平均＝100

※今回から直近年度の統計資料等に基づくウェイト更新を実施しています



建築・土木
総合

	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木 総合	142.9	+1.0	+2.0
建築	143.0	+0.5	+0.4
土木	142.7	+1.9	+4.9

指数の詳細な計算結果はこちら

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木 総合	●セメント：+19.5名古屋、+18.8高松、+18.5東京、+17.9広島、+17.1新潟、+15.6那覇、+9.4福岡 ●生コンクリート：+38.8札幌、+14.4那覇 ●コンクリート二次製品：+0.2名古屋 ●骨材：+9.0那覇、+5.7東京	●普通鋼鋼材：-1.4新潟、-0.8東京・福岡、-0.7仙台、-0.4札幌・広島 ●その他の鋼材：-4.1那覇、-0.4東京・名古屋、-0.3仙台・広島 ●特殊鋼鋼材：-4.4仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡、-4.3札幌、-4.1那覇
建築	●セメント：+19.5名古屋、+18.8高松、+18.5東京、+17.9広島、+17.1新潟、+15.6那覇、+9.4福岡 ●生コンクリート：+37.6札幌、+14.1那覇 ●コンクリート二次製品：+0.3名古屋 ●骨材：+9.3那覇、+5.3東京	●普通鋼鋼材：-1.2福岡、-0.8東京、-0.6仙台、-0.5新潟・広島、-0.4札幌 ●その他の鋼材：-4.1那覇、-0.4東京・名古屋、-0.3仙台・広島
土木	●セメント：+19.5名古屋、+18.8高松、+18.5東京、+17.9広島、+17.1新潟、+15.6那覇、+9.4福岡 ●生コンクリート：+40.1札幌、+14.9那覇 ●骨材：+8.5那覇、+6.8東京	●普通鋼鋼材：-2.5新潟、-0.9仙台、-0.6東京、-0.4札幌、-0.1広島・福岡 ●特殊鋼鋼材：-4.4仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡、-4.3札幌、-4.1那覇

指数集計対象資材の市況

6月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比プラス1.0ポイントの142.9となり、2カ月連続で最高値を更新した。土木、建築両指数も2カ月連続で上昇し、資材価格の騰勢が強まっている。特にセメント価格は、主要10都市では前月上昇した札幌に続き、他の7都市でも一段高となり、指数の上昇圧力となっている。また、セメント上昇の影響は生コンクリートにも波及しており、札幌と那覇で価格が上伸。札幌においてはm3当たり5,000円もの大幅上昇となった。一方、普通鋼鋼材をはじめとする鋼材関係は、低迷する需要を背景に下落している。但し、大きな値崩れには至らず、指数に与える影響は小幅なものに留まった。今後も生コンクリートの騰勢は全国的に続く見通しで、指数も当面は上昇基調が続く公算大。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部

TEL.03-5777-8212